

しず老施協

巻頭言



副会長としての抱負

静岡県老人福祉施設協議会副会長 大塚芳正

今年度より副会長及び東部支部長に就任した大塚芳正です。昨年度まで、企画経営委員長を拝命しておりました。昨年度同様、種岡会長及び石川相談役の手足となって老施協を盛り上げていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最近の状況としては、ウクライナ戦争をはじめとする世界的な大きな変動と課題が山積する中、日本でも社会全体の変革が要請されております。その中で、介護保険のみならず社会保障全般に対して大変厳しい社会状況となっていると理解しています。この背景に対して、当会の社会的な役割は一層大きくなっていると認識しています。例えば、新型コロナウイルス感染に対する当会の応援体制整備は静岡県でのモデル的な役割となっています。また、県当局への当会の要望折衝は県内介護業界を代表した役割となっていると感じています。しかし、そのような状況であるからこそ、高齢者福祉等をめぐって当会が率先して取り組む必要もあらうと考えています。

現在の重要度の高い取り組み課題を次のようにとらえております。

1. 議員との連携・強化

2019年度に「自由民主党安心して過ごせる高齢者施設を考える議員連盟」を結成していただきました。行政当局への要望や地域との連携を確実にするためにも、この関係を強化していくことが必要不可欠です。また、国会議員及び市町議会議員とのつながりもそれぞれ不可欠な取り組みだと考えます。さらに、これらの活動を会員と共有することも重要だと思います。

2. 市町との連携

近年、地域の特性に沿って必要な施策を展開することを標榜して、特に地域包括ケア体制にかかる事業が市町の役割となっています。地域包括支援センター事業、総合事業、防災関連事業などです。県老施協としては個別の市町との交渉まではできかねるため、県当局を通じて市町への働きかけをお願いするか、それぞれの市町の施設が個別に働きかけることが基本だったと思います。しかし、市町の役割が大きくなった現在、何らかの形で老施協としても関わりを持ちたいと考え、これらを支部活動の取り組みとして活動していければと思います。

3. 時代に沿った経営課題の会員に対する取り組み支援

介護人材の確保が困難な時代であり、経営の焦点をHR (Human Resource) にせざるを得ないと考えます。しかし同時に、科学的介護を基盤とした介護の質の向上や地域貢献も求められております。働き方改革のインパクトも大きく、経営の効率化が不可欠です。そのためには、経営全般のDX化に取り組み及び各施設・法人での経営方針の見える化が重要であると考えます。

これらの方向性について、三役会、理事会で議論していき、毎年の事業計画に結び付けるよう努力していきたいと思っております。そして、すべての会員が相互に顔の見える関係を構築する中で連携し、各会員が一層充実した取り組みができ、静岡県の高齢者福祉の充実につながるような基盤整備に尽力したいと考えています。

with、afterコロナの世界でも 必要な感染対策



浜松医療センター
衛生管理室室長補佐
感染管理認定看護師

葛原 健太

新型コロナウイルスが流行して早四年。未だ医療、介護の現場では利用者や職員を守るため、様々な感染対策が実施されています。私はこの数年の間にクラスター対応や感染対策支援で40施設程に訪問させていただきました。いずれの施設も感染予防、拡大防止のために尽力されていましたが、中にはやらなくても影響のない対策や、効果の曖昧な製品の活用なども確認されました。それらの経験を踏まえ、今冬の新型コロナ対策で最優先に実施すべきことや、新型コロナが落ち着いた後も施設で実施していくべき感染対策のポイントを下図にまとめさせていただきましたので参考にして頂ければ幸いです。

施設内の感染予防、拡大防止の成功の鍵は、職員が

施設で定められた感染対策（ルール）について、適切な道具（ツール）を用いて実践し、管理者はその実施状況を監督すること（ロール）です。人的資源が不足している現場では、忙しさに負けて基本的な感染対策をおろそかにしていることが多く、その結果クラスターに繋がっているケースが殆どです。また、感染対策に関する教育を受ける機会が少なく、知識不足によるルール逸脱も見受けられることがあります。効果が曖昧な感染対策の見直しや撤廃による業務の簡略化を図り、本当に実施すべき感染対策が実践されているか今一度ご確認をお願いします。最後に静岡県病院協会のHPに福祉施設の感染対策や、相談事例集が掲載されています。ご確認頂ければ幸いです。

診断前から標準予防策で対応する

感染を起こす微生物が含まれる物質に対して手洗いや防護具を使用する

効果的に除菌できる手洗いを行う

アルコール手指消毒に必要な1回量は約3ml

手洗いするタイミングが大切

感染が拡大する部署（施設）は

1,4,5の手洗いが不足している

目、鼻、口の粘膜を確実に防護する

- マスクの隙間を小さくする
 - マスクサイズを選ぶ
 - ゴム紐の両側に結び目を作る
- アイガードやゴーグルは目の上までカバーできるように装着する

PPEは“外す時と外した後”に感染リスクがある！

正しい外し方と直後の手洗いが大切

環境面はいつもの清掃・消毒で十分

- 手指が良くふれる場所を清掃又は消毒する
 - ドアノブ、手すり、スイッチ類、ベッド欄など
 - マイバットなどの住居用洗剤やアルコールでOK
- 床は埃の除去だけでよい（消毒は不要）
- 消毒薬の噴霧は不確実で危険
 - 未消毒の部分が残る
 - 吸入毒性や引火の危険がある
- 靴の交換、シューズカバーは不要

環境消毒よりも手洗いが大切

特集2

新型コロナウイルスの感染状況
実態調査報告について

企画経営委員会
委員長 杉山 弘年

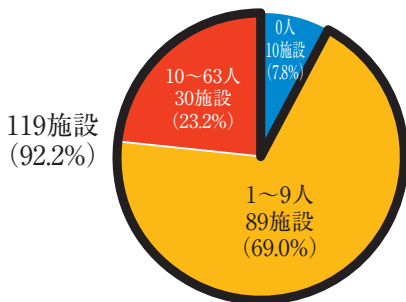
新型コロナウイルス感染症について、感染力が強まったオミクロン株により2022年に爆発的な感染拡大がみられ、介護施設においても大きな影響をうけることになりました。今後も感染予防・拡大防止策を再確認するとともに、とくに、まだ感染発生を経験していない施設におかれては、あらかじめ感染発生を想定した対応手順を確認しておくことが必要であります。本号では、県内会員の皆様にご協力をいただきアンケート調査を実施し報告書をまとめましたので、今後の各施設に必要な備えについての参考にしていただきたいと思います。

調査対象期間は2022年4月1日～8月31日間の発生状況を調査し、回収率は60%（129施設／215施設）でありました。主なデータは以下の通りでありました。

1 特別養護老人ホームにおいて職員が感染した施設は119施設（92.2%（119施設／129施設））だったのに対し、利用者が感染した施設は61施設（47.3%（61施設／129施設））であり、これは施設で感染者が出ても利用者に感染させないという会員の皆様方の頑張りがあったからだと思えます。（図①、②のとおり）

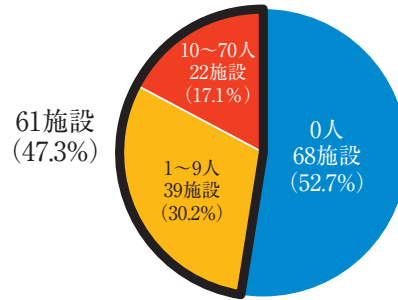
○ 特別養護老人ホーム職員の施設当たりの感染者数
感染者0人が10施設7.8%、1人以上119施設92.2%（1～9人が89施設69.0%、10人～63人が30施設23.2%）

図① 職員が感染した施設
（回答のあった施設129施設の内訳）



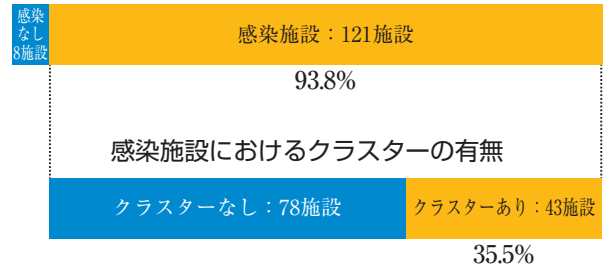
○ 特別養護老人ホーム利用者の施設当たりの感染者数
感染者0人が68施設52.7%、1人以上61施設47.3%（1～9人が39施設30.2%、10人～70人が22施設17.1%）

図② 利用者が感染した施設
（回答のあった施設129施設の内訳）



2 回答のあった特別養護老人ホームにおいて、1人でも感染した施設（利用者・職員全体）は121施設93.8%（121施設／129施設）でしたが、クラスターとなった施設は43施設35.5%（43施設／121施設）に留まり、これも日頃から会員の皆様方が感染対策を徹底してきた成果だと感じています。（図③のとおり）

図③ 特別養護老人ホームでの感染の有無



詳細については、既にご送付しております本報告書又は県老協のホームページを御覧ください。⇒



今回の調査に関しましては、会員の皆様方には大変お忙しい中でのご協力を賜りまして誠にありがとうございました。全体的な意見としては、やはり初期対応が重要であることと、施設内での情報共有と組織全体での応援・支援・連携体制を整えることが大切であると感じました。本委員会では、現在（2023年1月31日原稿執筆時点）も感染状況についての調査を実施しております。今後も、調査結果の分析やヒアリングを行い、コロナ禍における課題や予防対策の工夫や対応事例について引き続き考察を行い、会員の皆様にご発信していく予定でありますので、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

台風15号の被害状況と復旧の過程について



特別養護老人ホーム高部陽光園
施設長 梅原 道夫

9月24日当施設は、台風15号により甚大な災害をうけました。当施設は、2017年開設、地上3階建て、入居100名（10ユニット）、短期入所10名（ユニット）、通所10名の施設です。当時は3階40名、2階40名、1階25名（内短期入所5名）のご利用者と夜勤職員が各階2名と準夜勤1名の計7名がおりました。

この高部地区は、水害危険区域になっており、当施設の災害マニュアルでは、巴川の能島水位が「反乱危険水位」に達した際には、1階ご利用者を上階に挙げるルールがありました。しかし過去にそのような経験もないのに、当日の夜勤職員が自分の車が浸水するのを目前にし、1階ご入居者を上階に誘導したことは、ご利用者の生命を救った勇気ある決断でした。誘導完了直後に停電、エレベーターは止まってしまいました。

〈被災から復旧までの時系列表〉

| | |
|-----------|---|
| 9月24日 | <p>午前1時：夜勤職員より施設前の駐車場に水が溜まっている。巴川が危険氾濫水域に達する。</p> <p>午前2時：駐車場が踵まで水位があがっている。1階ご利用者（25名）を上階に避難誘導開始する。</p> <p>午前3時：避難誘導完了、直後停電、エレベーターは水没のため使用不可。1階は膝くらいまで浸水する。</p> <p>午前6時～施設長・早番職員・事務職員施設到着</p> <p>午前8時：法人職員・ご利用者のご家族等の協力により片付けを行う。 施設内の汚染された家財・家電等を外に出す。</p> <p>午後6時：電気一部復旧する。 食事は、防災食で対応する。（各ユニット） （施設の状態：断水・エレベーター使用不可・電話・ネット不通）</p> |
| 9月25日・26日 | <p>厨房での炊飯が可能となり、主食のみ提供可能となる。</p> <p>1階居室を主に片付けをする。居室のタンス・衣類は全て廃棄。ベッドは垂直に立て水を抜き動作確認をする。 （施設の状態：断水・エレベーター使用不可・電話・ネット不通）</p> |
| 9月27日 | <p>市水より直接配管し生活用水としての供給が可能となった。 （施設の状態：エレベーター使用不可・電話・ネット不通）</p> |
| 9月28日 | <p>エレベーター修理完了 使用可能となる。しかし1階の受け入れ準備が間に合わず上階のご利用者を1階に移動することはできなかった。</p> <p>19時より水道が飲水可能となった。 （施設の状態：電話・FAX・ネット不通）</p> |
| 9月30日 | <p>電話外線可能となった。</p> <p>1階の清掃等が終了し上階のご利用者を1階に移動する。 （施設の状態：FAX・ネット不通）</p> |
| 10月1日 | <p>厨房での調理可能となり、通常の食事提供が可能となった。</p> |
| 10月3日 | <p>FAX・ネット使用可となり通常運営となる。</p> |
| 10月7日 | <p>家財（タンス・食器棚）搬入</p> |
| 10月17日 | <p>家電（冷蔵庫・洗濯機等）搬入</p> |

【被害を受けた備品・設備一覧】

- ・家財廃棄（タンス30棟、食器棚5台、ソファ3台等）
- ・家電廃棄（冷蔵庫10台、洗濯機4台）
- ・施設車両4台（1台修理、3台廃車）他に当日夜勤職員の車両4台（廃車）
- ・エレベーター修理（2基）
- ・大型洗濯機修理（2台）
- ・機械浴槽1台廃棄、3台修理
- ・非常用発電機廃棄
- ・給水ポンプ廃棄
- ・スプリンクラーモーター修理
- ・複合機廃棄
- ・1階床汚染のため洗浄 消毒等
- ・オムツ・介護用品・リネン等

今回の災害で非常に多くのことを学びました。まず思いもよらない災害は起こるということです。自分の身には起こらないだろうと楽観視していました。次にBCPの重要性です。最初に何から取り掛かればいいのか?・・・これがない・・・どこに連絡すればいいのか・・・等これがBCPと言うものかと身をもってわかりました。そしてこの様な大参事の中ご利用者が一人も体調崩すことなく、また短期間で通常業務に復旧させた職員の団結力です。

最後になりましたが、県老協会員をはじめとした近隣の施設、ご入居者のご家族、またSNSをみて駆けつけていただいた方々皆様のご支援があり気持ちが折れることなく頑張ることができました。物理的な支援はもちろんですが、精神的支援の有難さを強く感じました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



浸水被害にあった冷蔵庫、洗濯機等



施設前駐車場



浸水被害にあった家具等



他施設職員等による支援状況（床洗浄、片付け等）

職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

平成の杜

（小山町）

- ① 館岡 淳（介護職員）
- ② 特になし
- ③ 本田 翼
- ④ 平成の杜に寄付
- ⑤ 笑顔が絶えない施設
- ⑥ 自宅が近い



元吉原デイサービスセンターはまかぜ

（富士市）

- ① 平山恵理（ケアワーカー リーダー）
- ② コロナ禍で会えなかった従弟妹達に正月に久しぶりに会えたこと
- ③ 津田健次郎（あの声がたまりません）
- ④ 世界各地のディズニーランドに行きたい
- ⑤ 利用者さんにも職員にも「ここ（はまかぜ）がいい！」と思ってもらえる居場所
- ⑥ 前職は保育士をしていました。友人の紹介で「話だけでも・・・」と聞いたところ、『やってみたい』という興味が湧いたことがきっかけとなりました。



白扇閣

（静岡市清水区）

- ① 伊東良織（介護職員）
- ② 千葉にいる友達と久しぶりに遊ぶことが出来ました。
- ③ 中村悠一（声優）
- ④ 車を買いたいです。
- ⑤ 全ての職員が働きやすいと思える様な施設にしていきたいように尽力していきたいです。
- ⑥ 介護の勉強と仕事を両立して行う事が可能で、働きながら様々な資格を修得しスキルアップしていく事が出来る点に魅力を感じました。



レジデンス花

（静岡市清水区）

- ① 平岡さやか（介護職員）
- ② 欲しい物を買えたこと
- ③ 山田涼介
- ④ 貯金
- ⑤ 利用者様が穏やかな日々を送り、最後までその人らしく過ごしてもらえる施設
- ⑥ 見学に来たとき、施設の雰囲気がとてもよく、また寮も併設されていたことから。



光湖苑

（湖西市）

- ① 縣 格（介護職員兼生活相談員）
- ② 子供が受験して合格したこと
- ③ 北村一輝
- ④ 古いバイクを1台だけ購入して、直しながら乗りたいです。
- ⑤ 利用者様も職員も「今日も一日良い日だった」と思うことができる職場。
- ⑥ 自分が何かの形でお世話になった方がいるかもしれないので。



いしはらの里

（浜松市南区）

- ① 成瀬香穂（介護職員）
- ② サーキットで車を走らせたこと
- ③ 野村 謙
- ④ ER34を家族分買う
- ⑤ あたたかみのあるにぎやかな施設
- ⑥ 職員が制服ではなく、私服で働いていて、施設にいるというより家にいる感じがした。施設実習中に、入居者様に「これからもここで働くの？おいで」と言われて、とっても嬉しかったから



どうぞよろしく申し上げます

支部紹介(西部支部)

「男性も育児休暇取得しやすい環境づくり」 ～育児休暇取得した職員・施設のインタビュー～



広報委員会西部地区担当
特別養護老人ホーム第二長上苑
益田 八千代

今号の支部紹介は西部地区にある社会福祉法人七恵会です。高齢者介護、児童保育、障害児・者支援の3領域について活動しています。利用される人・職員の「その人らしさ・幸せ」を追求していきます。

今回は「男性も育児休暇取得しやすい環境づくり」をテーマに育児休暇を取得した職員2名のインタビューを紹介します。

鈴木智大(28歳)さん

在宅複合型施設 長上苑【ショートステイ・デイサービス・訪問入浴・訪問介護・居宅支援事業所】
ショートステイ介護職員 入職7年目
育休取得期間 4カ月

Qなぜ育児休暇を取得しようと思ったのでしょうか？

初めての育児で妻をサポートしたい。息子の成長をみたいという思いからです。

Q職場の反応はいかがでしたか？

「育児楽しんでね」「奥さんのフォローしっかりね」と温かい言葉をいただきました。

Q長期職場を離れる不安はありましたか？

もちろん金銭面での不安はありましたが、職場の理解があったのでそれ以外の不安はありませんでした。

Q奥様の声を教えてください

奥様「頼ることができる人が大変な時も一緒にいてくれて心強かったです。育児をするなかで嬉しいこと・辛いことを共感でき、一緒に子どもの成長を見ることができて良かったです」

Qこれから育休を取る方たちへのアドバイスは？

分からないことが多い中で妻と協力してやるのは大変ですが、後々楽しく思い出になるので、是非取得して育児を楽しんでほしいと思います。広報などで広めていただければこの業界・仕事場の職員も取りやすくなるのかなと感じます。

Q施設として、事前対応・調整等工夫が必要だったことはありますか？

長上苑 係長補佐 高木秀晃

本人から「職員へ迷惑をかけてしまうが妻を支えたいため、育児休暇を取得したい」と申し出があったので職員に協力をお願いしたところ大変協力的でした。本人が自らの思いを伝えた事で職員一人ひとりが前向きに捉えてくれたと感じました。また、奥さんが以前長上苑で働いていたことも協力を得るうえでは大きかったと思います。智大さんは当時サブリーダーをしていましたが、育児休暇を取得するという事で急遽後任の選出をしました。引継ぎを限られた時間で行わなければいけないため、業務内容を明確しておく必要性を感じました。



鈴木智大さん家族写真

長上苑 施設長 鈴木 喫

男性職員が育児休暇を取るのは大いに賛成でした。職場職員もその分人を増やすように求めてくることもなく、現有戦力で対応してくれました。この前例をつくる事で、後に続く育児取得男性職員が増えることを願っています。

大地隆友（34歳）さん

地域密着型特別養護老人ホーム 第三長上苑【29床
3ユニット】

係長・介護職 入職11年目

育児取得期間 10日間

Qなぜ育児休暇を取得しようと思ったのでしょうか？

3人目の出産で妻の負担も大きく、少しでも協力できたらと思い申請させてもらいました。

また、法人ではまだ男性が育児休業を取得したことがないと聞いていました。自分が先陣を切ることで、後輩たちが取得しやすい環境になるのではないかと思います。

Q職場の反応はいかがでしたか？

「仕事は任せて、育児に専念してきて。仕事はこれからもできるけど、育児は今しかできないからね」と言ってくれたことが嬉しかったです。

Q長期職場を離れる不安はありましたか？

周りの職員から「育児に専念するように」という声が多く、なるべく迷惑をかけないように事前に準備しておきました。まわりのスタッフがフォローしてくれたことも心強かったです。

困ったら連絡や指示は出せるので連絡はくださいと伝えたのですが意外と連絡はこなかったです。

Q奥様の声を教えてください

奥様「今回の出産は私や赤ちゃんのお世話よりも、上の子たちのことがとても心配だったため、子どもたちと向き合ってくれたことが本当にありがたかったです。お風呂から聞こえる夫と子供たちの笑い声に癒されていました。今回このような機会を下さった皆さんのおかげで穏やかな産後を過ごすことができました。」

Qこれから育児を取る方たちへのアドバイスは？

たしかに仕事上で声を上げづらかった。まずその一歩で声を上げてみる。僕らが育児をとっているのだから、次の人たちも取りやすくなるのかなと感じます。

Q施設として、事前対応・調整等工夫が必要だったことはありますか？

第二、第三長上苑 課長 益田八千代

前例がなかったので不在期間の不安はありましたが、世間のニュースでも取り上げられていることですので、男性も育児を取得するきっかけになればよいと思いました。不在期間業務が困らないように整理して休暇に入ってくれたことが良かったです。急な勤務調整もありましたが対応できたのは、関係する職員の協力のおかげだと感謝しています。

第二、第三長上苑 施設長 水谷秀夫

女性職員だけではなく、育児に積極的に参加する男性職員も応援したいと思っています。育児取得期間に関しては、事前に勤務・業務について相談しておくことでスムーズに対応できました。今後も「働きやすい職場環境」を目指した取り組みに努めます。



大地隆友さん家族写真

委員会紹介

～変わりゆく時代のなかで、私たちにできること～ 第11回静岡県高齢者福祉研究大会 開催報告



高齢者福祉研究大会
実行委員会 前委員長

池田 達哉

第11回静岡県高齢者福祉研究大会が、実に4年ぶりにWEB配信によって開催されました。コロナ禍で多忙な状況にもかかわらず研究発表をしてくださった36の施設様には、改めて感謝申し上げます。例年行ってきた会場での開催が叶わずWEB配信という新たな試みでしたが、視聴された皆様いかがだったでしょうか。いつでも、誰でも、どの発表でも、そして何度でも視聴できることはWEB配信ならではの大きなメリット

でした。一方、会場で生の声を聞きたい、いろいろ質問したいという意見もたくさん頂きました。この先、皆様が1つの会場に集まり、それぞれの発表を見聞きする、その熱気を感じたり、交流が生まれる大会が再び行われることを期待しながら、今回のWEB配信のメリットも活かした新しい研究大会が開催できるように今後も取り組んでいきます。

第11回静岡県高齢者福祉研究大会 開催報告

期間：令和4年10月3日～11月30日（WEB配信にて）

発表施設数：36施設

動画再生状況：発表動画の再生総数 2,740回 1発表動画当たりの再生数 76回

優秀賞 受賞施設

| テーマ | 発表施設 | 発表タイトル |
|-----|--------------------|-----------------------|
| ① | 特別養護老人ホームディアコニア | 排泄業務改善の取り組みについて |
| ② | 特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山 | 自立支援介護・重度化防止 |
| ③ | 特別養護老人ホームさくまの里 | 口腔ケアの技術を上げて、生き生き健口生活！ |
| ④ | 特別養護老人ホーム浜松中央長上苑 | 事務職員の6つの挑戦 |
| ⑤ | 第二長上苑デイサービスセンター | 『健幸』へのサポート |
| ⑥ | 養護老人ホームするが荘 | 施設の枠を超え、地域へ！ |
| ⑦ | 地域密着型特別養護老人ホーム平成の杜 | コロナ禍における取り組み |

視聴者アンケート結果（抜粋）

| <所属> | | <職種> | | <地域> | | <年代> | |
|------|-----|----------|-----|------|-----|-------|-----|
| 特養 | 73% | 介護職 | 47% | 東部 | 44% | 20代以下 | 11% |
| 養護 | 10% | 管理職 | 24% | 中部 | 19% | 30代 | 16% |
| デイ | 6% | ケアマネ・相談員 | 11% | 西部 | 36% | 40代 | 27% |
| その他 | 12% | その他 | 18% | | | 50代 | 31% |
| | | | | | | 60代以上 | 14% |

| <視聴環境> | | <視聴時間帯> | | <視聴題数> | | <満足度> | |
|---------------|-----|---------|-----|--------|-----|-------|-----|
| パソコン | 56% | 就業時間内 | 64% | 1-5題 | 58% | とても満足 | 17% |
| スマートフォン・タブレット | 35% | 休日等 | 36% | 6-10題 | 23% | 満足 | 49% |
| スクリーン等、複数名で | 9% | | | 11-20題 | 10% | 普通 | 31% |
| | | | | 21-35題 | 4% | やや不満 | 4% |
| | | | | 36題全て | 6% | 不満 | 0% |

| <視聴したテーマ> | | | |
|--------------|-----|---------------|-----|
| ①中重度ケアの実践 | 62% | ⑤在宅サービスの取組 | 23% |
| ②暮らしを楽しむ工夫 | 40% | ⑥社会福祉法人における取組 | 26% |
| ③多職種協働・連携の実践 | 55% | ⑦コロナ禍における取組 | 45% |
| ④魅力ある職場づくり | 43% | | |

※複数回答あり

第11回高齢者福祉研究大会優秀賞受賞者の喜びの声

優秀賞を受賞された7施設には、新型コロナの感染拡大防止のため、1月20日から2月6日にかけて、相談役、会長、各支部長が施設を個別訪問して表彰を行いました。

各施設には広報委員が同行し受賞者にインタビューを行いました。受賞施設の皆様、お忙しい中ご協力ありがとうございました。

テーマ① <発表タイトル> 排泄業務改善の取り組みについて
中重度ケアの実践 <受賞者> 特別養護老人ホームディアコニア

眞野 純一 様、大倉 崇宏 様、荒木 和弘 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

排泄という大きなテーマに職員全体で取り組み発表できたこと、さらに賞を頂けたことを本当に嬉しく思っています。

職員に変化などはありましたか？

職員個々の学びたい意欲が実はここまであったんだな、新しく導入するパットのこととか、当て方の講座とかをやる中ですごく知りたいっていう気持ちが強んだっていうのを改めて実感しました。現場の介護を実践するだけでなく、きちんと学んでいくっていう場を排泄とかに限らず接遇とかでも機会を増やしたいなと改めて思いました。



テーマ② <発表タイトル> 自立支援介護・重度化防止
暮らしを楽しむ工夫 <受賞者> 特別養護老人ホームグリーンヒルズ東山

内山 栄介 様、石塚 磨貴 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

取り組みを始めて2年、1歩1歩経験を積み重ねた結果、受賞できたことは職員の誇りに繋がります。

継続していくことの大変さもありませんか？

私一人が「やれやれ」と言ってもできなかったと思いますし、職員は通常業務をやりながらの取り組みなので大変だったと思いますが、利用者のために繋がることを感じ、かつ研修で学びを深めることで継続ができたと思います。入居者の為ではあるが、それは職員の為でもある。利用者がずっと立てるようになれば、その分職員の介助負担の軽減になることも発信しています。



テーマ③ <発表タイトル> 口腔ケアの技術を上げて、生き生き健口生活！
多職種協働・連携の実践 <受賞者> 特別養護老人ホーム さくまの里

水谷 準平 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

個人のみではなく、チーム・歯科医師・上司みんな一丸となって成し遂げたことへ多大な評価をいただけたことに喜びを感じます。

喜びのお気持ちを誰に伝えたいですか？

一緒に取り組んでいただいた歯科医師の先生です。取り組みを通して複数回施設に来ていただき丁寧な指導をしていただきました。先生なしでこの取り組みは成功しなかったと思います。受賞のことをまだお伝えできていないので、感謝を含めお伝えたいです。



テーマ④ <発表タイトル> 事務職員の6つの挑戦
魅力ある職場づくり <受賞者> 浜松中央長上苑 金子 裕紀子 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

事務の皆で作った作品発表だったので、代表して私がもらっている気持ちです。

作成発表などで気持ちの変化などは？

テーマに沿ってやってみた中で全部が全部成功しているとは思えない部分もあるかもしれませんが、それを踏まえて、自分も振り返ることができました。自分の生活についても振り返ってみて、じゃあどうする？じゃあもっといろんなことに挑戦してみよう！という気持ちになりました。大変でしたけど、やってみてよかったと思っています。



テーマ⑤ <発表タイトル> 『健幸』へのサポート
在宅サービスの取組 <受賞者> 第二長上苑デイサービスセンター 袴田 美聡 様、武藏島 詩織 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

ご利用者さんのためにと思って職員みんなで考えてきたことが結果にもつながったので本当に嬉しく思います。

発表後の変化は？

こんな感じでアイデアを出し合ったり、いろいろな所から聞いたり、情報を得ながらなんとか作りました。職員みんなで協力し合ってやってくださったので、すごくいいチームワークが出来ましたし、今も続いています。



テーマ⑥ <発表タイトル> 施設の枠を超え、地域へ！
社会福祉法人における取組 <受賞者> 養護老人ホームするが荘 佐藤 優真 様、溝口 里実 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

受賞したことで、利用者さん達が地域に出てやっていることが認知され、知ってもらえるきっかけになって良かったです。

ご利用者様から何かで意見などありましたか？

利用者さんから好きなことが続けられて嬉しいよとか、その人のためになって嬉しいなっていう声がいっぱい聞かれるので、そのお手伝いができていいなと思います。新型コロナもあって活動先の拡大まではいけてないので、これからもっと地域に出ていけたらいいなと感じます。



テーマ⑦ <発表タイトル> コロナ禍における取り組み
コロナ禍における取組 <受賞者> 地域密着型特別養護老人ホーム平成の杜 柴田 和之 様、小野寺 敬子 様

受賞されて今のお気持ちをひとこと

僕個人でやっているものではなく、施設として今まで取り組まれてきたことをなるべくギュッと凝縮して発表したつもりですけど、施設の取り組みをしっかりと評価されたような気がしたことがすごく嬉しかったですね。

作品を作る中でスムーズにできたことは？

日頃から職員同士の関わり、関係性っていうのは僕自身も気をつけているし、園長が一番に気使ってくださる方なので、その雰囲気施設全体に行き渡ってるから、とてもやりやすかったです。



「介護の日」啓発活動報告

「今年度は500枚多く掲示できました！」



21世紀委員会委員長

若林 久美子

今年度も、とても素敵な「介護の日」啓発ポスターが出来上がり、県内老施協会員施設、県内高校等に配布した他、三島駅、沼津駅、静岡駅、浜松駅で3週間の掲示をしました。さらに新しい取り組みとして、今年度はポスターの印刷枚数を500枚増やし1,500枚を掲示することにしました。始めはそんなに増やして貼ってもらえるかな、と心配しましたが、東部、中部、西部、それぞれ支部役員の皆様のご協力もいただき、最後にはポスターが足りなくなるほどでした。施設や学校の枠を超えて、役所やコンビニ、ドラッグストアやスーパー、農協など多くの方の目に入る店舗に貼って頂く事ができました。特に静岡中部は、21世紀委員澤田副委員長の計らいで、静岡信用金庫の県内各支店やハローワークという幅広い箇所でご協力頂きました。

どこの店舗をお願いに行っても、皆さん「良いポス

ターだね!」「来年も持ってきな!」など、快く貼って下さると言っていただき、介護の仕事を応援しよう、というお気持ちが伝わってきて嬉しく励みとなりました。

写真の応募では、施設内でまずコンテストを行い、より素敵な写真を応募しよう、と取り組んでいただいたというお話も伺いました。また、21世紀委員の「なごみ」の家里弘美さんは、ポスターデザインを毎年担当して下さり、介護の合間にご自分の手を撮影し、素敵に写真と組み合わせ今回のポスターが完成しました!

新型コロナのクラスター対応など、本当に大変な中でありながらも、写真の応募から、ポスター作製、配布と、21世紀委員の皆さん、老施協会員施設の皆様、みんなの力を合わせて素晴らしい介護の日啓発活動ができました。



掲示の様子



ポスター

会員施設の紹介

特別養護老人ホーム 高原荘

【一言キャッチフレーズ】

「心を大切に、健やかで豊かな日々を。」

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム 高原荘
- ・施設長名：齊藤浩理
- ・運営法人：社会福祉法人 岳南厚生会
- ・理念：「敬愛の念」と「お年寄りの気持ちを心から受け入れ、大切にしていける精神」をもって利用者に接し、老人福祉の増進に寄与せんとする。
- ・開所日：昭和62年4月
- ・所在地：富士宮市買戸103番地の2
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム／ショートステイ／デイサービス／居宅介護支援事業所
- ・定員数：特養80名／ショートステイ20名／デイサービス30名



※詳細版はこちらから ⇒



養護老人ホーム 静岡市清水松風荘

【一言キャッチフレーズ】

「常に『温かい心の福祉』を第一義として、
入所者が明るく心豊かに過ごせるように尽くします」

【施設概要】

- ・施設名：養護老人ホーム静岡市清水松風荘
- ・施設長名：木下正之
- ・運営法人：社会福祉法人清承会
- ・理念：『温かい心の福祉』の実践
- ・開所日：昭和29年4月1日
- ・所在地：静岡市清水区折戸3丁目19番40号
- ・提供サービス：養護老人ホーム／短期保護事業
- ・定員数：70名



※詳細版はこちらから ⇒



特別養護老人ホーム さぎの宮寮

【一言キャッチフレーズ】

一人ひとりの願いを大切に、誰もが地域で
共に豊かに暮らすことができる社会を創造する

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホームさぎの宮寮
- ・施設長名：高杉威一郎
- ・運営法人：社会福祉法人峰栄会
- ・理念：『思想しつつ祈りつつ共に生きる』
- ・開所日：平成3年4月1日
- ・所在地：浜松市東区小池町38番地の1
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム／ショートステイ／デイサービスセンター／グループホーム／地域包括支援センター／小規模多機能ホーム／居宅介護事業所／共同生活ホーム／放課後児童クラブ
- ・定員数：80名



※詳細版はこちらから ⇒



知事新年挨拶県庁訪問

正副会長の活動

令和5年1月5日、相談役、正副会長は新年挨拶のため川勝知事を訪問しました。

写真左から、大塚副会長（東部支部長）、石川相談役、川勝知事、種岡会長、前田副会長（中部支部長）、深谷常務理事（事務局長）。



令和4年度老施協活動報告（令和4年11月1日～令和5年3月31日）

☆は予定

【老施協】

★12月9日 第5回相談役・正副会長会議

★12月9日 第3回理事会

【協議・報告事項】

委員会委員の補欠の選任、高齢者福祉研究大会実行委員会委員の決定、就業規程の一部改正、会長表彰要綱内規の一部改正等

★1月5日 第6回相談役・正副会長会議

★2月24日 事業推進検討会議

令和5年度支部・委員会活動計画案の調整等

☆3月7日 第4回理事会

☆3月20日 第2回総会

令和5年度事業計画案・一般会計収支予算案

【企画経営委員会】

★11月14日 第4回委員会

新型コロナウイルスの感染状況調査結果、DX化調査・研究、振り返りと今後の活動

★1月16日 第5回委員会

DX化調査・研究、令和4年度活動報告と令和5年度事業計画

【広報委員会】

★11月24日 第3回委員会

[しず老施協]第66号の企画、老施協ホームページ

【研修委員会】

★2月8日 第5回委員会

BCP研修、施設長研修、令和4年度活動報告と令和5年度事業計画等

★2月20日 BCP研修

☆3月20日 施設長研修

【21世紀委員会】

★10月24日～11月13日 介護の日PRポスターを三島駅、沼津駅、静岡駅、浜松駅構内等に掲出

★12月22日 第4回委員会

関東ブロックカンントリーミーティングの開催

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

★10月3日～11月30日 第11回高齢者福祉研究大会（WEB開催）

★12月16日 第3回実行委員会

第11回大会の開催報告、優秀賞の決定と表彰方法等

★1月30日 実行委員会

第12回大会の開催計画等

☆3月3日 実行委員会

【養護委員会】

6月～12月 養護老人ホーム実態調査アンケート配布・集計

1月 養護老人ホーム実態調査報告書配布

★1月31日 全国老施協養護懇談会（オンライン）

【特養委員会】

★1月24日 第4回委員会

令和4年度活動報告及び令和5年度事業計画等

【地域ケア委員会】

★11月25日 第4回委員会

在宅サービスアンケート調査結果

★2月 第5回委員会（書面開催）

令和4年度活動報告及び令和5年度事業計画等

【関東ブロックカンントリーミーティング：本県担当】

★1月23日 第1回実行委員会（オンライン）

★2月15日 カントリーミーティング（関東・九州ブロック）（オンライン）

編集後記

私は養護老人ホームに勤めています。先日施設の廊下を歩いていると、ある女性の利用者から「施設長さんの尊敬している人を教えてください。」と声を掛けられました。私は迷わず「アントニオ猪木です。」とお答えしました。利用者の方は目を大きく開き、「施設長さんだったら徳川家康のような歴史上の人物を尊敬していると思っていました。」と非常に驚いていらっしゃいました。実はその利用者の方は若い頃はプロレスのファンで、息子さんが元気に生まれてきてくれたのはプロレスのおかげだったと話してくれました。

残念ながら猪木さんは昨年お亡くなりになりました

が、私も猪木さんの心に響く名言や格言、ユニーク言葉に魅了されたひとりであり、これからもその言葉を大切にしていきたいと思っています。その中でも私のお気に入り言葉を紹介いたします。

利害を超越して 誰も出来ないこと 誰もやらないことを 夢としてそれに挑戦する！！

それが私のロマンである

現在、社会福祉法人の理事として、事業所管理者として、取り組まなければならない課題が山積しています。「どうする龍太」

（鈴木龍太）